

共に生きる地域社会へ

無料

10月7日(土)13:30~16:10 (開場13:00)

ふれあいホール (けやきプラザ2F) 我孫子駅南口下車 徒歩1分

人生100年の長寿社会は、人間にとっては未知の世界。それだけに新しい考え方も必要です。ある程度の身体の不自由を伴って生きていかなければなりません。最後は家事サポートとケアがなければ暮らしが成り立ちません。人様の世話になりたくないと思っても、どこかで「助けて」と自立をサポートしてもらう柔軟さが必要でしょう。個人の尊厳を失わず、他者の助けを感謝を持って受け入れられる高齢者になりたいものです。

一方で、できることをできる範囲でサポートをしてあげることも今から少しずつ始めませんか。困った時、互いに支え合う地域にしていくにはどうしたら良いか、一緒に考えてみませんか？

第1部

市民の声「困ったときはお互い様」

要約筆記あり

申込み不要・先着500名

第2部 講演



「人生100年時代の地域づくり
～新しい働き方・暮らし方・つながり方～」

中央大学教授 宮本 太郎 氏

[講師プロフィール]

1958年東京都生まれ。中央大学法学部教授。安心社会実現会議委員、内閣府参与、総務省顧問、成長戦略実現会議委員、社会保障改革に関する有識者検討会座長、社会保障制度改革国民会議委員、中央教育審議会委員などを歴任。現在、社会保障審議会委員、『月刊福祉』編集委員長、NPO法人「地域ケアネットワーク」代表理事などを務める。

主な著書：『共生保障 「支え合い」の戦略』（岩波新書）、『生活保障 排除しない社会へ』（岩波新書）、『福祉国家という戦略 スウェーデンモデルの政治経済学』（法律文化社）、『福祉政治 日本の生活保障とデモクラシー』（有斐閣）。編著『生活保障の戦略 教育・雇用・社会保障をつなぐ』（岩波書店）等多数。